Grafsec 第8回全国大会発表資料

一般社団法人LOCAL

2022年度Grafsec助成事業実施報告

2025年2月27日

一般社団法人LOCAL

はじめに

- **Leading Organization of Community Activity for LOCAL**
- URL : <https://www.local.or.jp/>
- 北海道における、技術系地域コミュニティ（IT勉強会等）の活動を支援し、コミュニティ間の連携イベント企画開催等をとおして、**地域を盛り上げていくことを目標とする有志の集まり**
- 所属、年齢、立場の垣根を超え、現役のIT技術者や、IT技術者を目指す学生が多数所属
- 理事:5名、正会員:28名、賛助会員:5名、メーリングリスト会員:185名
- 来る者拒まず、去る者追わず

なにをやっている集まりか？

- IT勉強会の開催
- IT勉強会の開催支援（コミュニティ支援制度）
- IT勉強会へ参加したい学生の支援（学生交通費支援制度）
- IT勉強会を開催したい学生の支援（LOCAL学生部）
- **情報セキュリティ人材育成・情報セキュリティ啓発（LOCAL安全部）**
- 大規模イベント運営支援、コミュニティ間交流イベントの企画・開催
- 定例会（毎月第3木曜日 見学自由）

マスコット「ろかんと君」の由来

蟻 …「義」の虫
1匹1匹の力は弱いけど、
集まると結構いい仕事をするよ

事業名： 北海道地域における情報セキュリティ人材育成事業

事業期間： 2023年6月1日～2024年10月28日

事業概要：

- 北海道地域における情報セキュリティ人材の発掘および育成を目的として、下記2つの事業を実施した
 - 1) 若手情報セキュリティ人材育成プロジェクト
Security College for Youth (略称：SC4Y)
 - 2) 情報セキュリティ啓発セミナー
LOCAL Developer Day /Security (略称：LDDsec)

助成金額： 279,290円（講師謝金・交通宿泊費）

- 道内在住の**16歳以上30歳以下**を対象に、情報セキュリティ倫理講習、基礎講座および演習、脆弱性対応演習、**サイバー攻撃対応競技会 (Micro Hardening for Youth)**、振り返り学習会兼交流会の参加までを1サイクルとして、1年間かけて開催する。
- 上記イベントを**2年間 (2サイクル) 実施**することで、先輩から後輩への知見の継承を促すとともに、中期的に成長を実感し、更なる研鑽へと繋げる機会とする。

- **学生、社会人（IT技術者、情報セキュリティ担当者、教育関係者）**を対象に、情報セキュリティに関する取り組みや事例の紹介、最新の技術動向を伝えるセミナーを開催する。
- **年1回定期開催**することで、最新動向をキャッチアップし、**定期的な知識のアップデートを促す**機会とする。

事業実施報告

2023年度

開催日	イベント名・URL	会場	参加者数
2023年6月10日(土) 10:00-16:00 2023年6月11日(日) 10:00-16:00	SC4Y ('23#1) BlueTeam演習+セキュアコーディング +Chobi Hardening https://sc4y.connpass.com/event/284575/	北海道ソフトウェア技術 開発機構	21名
2023年7月15日(土) 13:00-18:00	SC4Y ('23#2) Micro Hardening Basic https://sc4y.connpass.com/event/288024/	オンライン	19名
2023年8月6日(日) 9:30-16:30	SC4Y ('23#3) Micro Hardening for Youth 2023 https://sc4y.connpass.com/event/290224/	北海道ソフトウェア技術 開発機構+オンライン	21名
2024年2月26日(月) 13:00-15:35	SC4Y ('23#4) HAISLサイバーセキュリティセミナー https://sc4y.connpass.com/event/309326/	オンライン	55名
2024年3月7日(木) 20:00-21:00	SC4Y ('23#5) IT・情報系 北海道まったりLT大会 https://sc4y.connpass.com/event/310172/	オンライン	32名

2024年度

開催日	イベント名・URL	会場	参加者数
2024年5月25日(土) 9:00-18:00	SC4Y ('24#1) BlueTeam演習+Chobi Hardening https://sc4y.connpass.com/event/317965/	北海道情報専門学校	29名
2024年6月29日(土) 12:00-16:45	SC4Y ('24#2) Micro Hardening Basic https://sc4y.connpass.com/event/316767/	札幌市産業振興センター	28名
2024年7月28日(日) 10:00-17:30	SC4Y ('24#3) Micro Hardening for Youth 2024 https://sc4y.connpass.com/event/323595/	北海道大学+オンライン	24名
(以下、助成事業外で開催予定)			
2025年2月28日(金) 9:55-12:05	SC4Y ('24#4) HAISLサイバーセキュリティセミナー https://sc4y.connpass.com/event/346275/	オンライン	募集中

LDDsec 開催実績サマリー

2023年度

開催日	イベント名・URL	会場	参加者数
2023年8月26日(土) 13:30-18:00	LOCAL Developer Day Online '23 /Security https://local.connpass.com/event/290602/	オンライン	46名

2024年度

開催日	イベント名・URL	会場	参加者数
2024年8月31日(土) 13:00-17:30	LOCAL Developer Day '24 /Security with SecHack365 https://local.connpass.com/event/324918/	TKPガーデンシティ札幌駅前	40名

SC4Y 2023年度開催の様子

企業に求められる
サイバーセキュリティへの
取り組み

立命館大学情報理工学部 上原哲太郎

Futurize.

共同研究先:北海道警察サイバーセキュリティ対策本部

中学生を対象とした
情報セキュリティ教育教材の
開発と出前授業を通じた実践

苫小牧工業高等専門学校 創造工学科
情報科学・工学系 土居 茂雄
doi@tomakomai-ct.ac.jp
情報処理安全確保支援士

本発表は、苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 フロンティアコースの
フロンティア研究として実施したものです。

zoom

誰1人取りこぼさない時代の
情報セキュリティ対策
~若年層と高齢者にどう対応するか~

2024.02.26

SC4Y ('23#4) HAISLサイバーセキュリティセミナー
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所
花田 経子 cchanabo@kmd.keio.ac.jp

zoom

SC4Y ('23#4)
HAISL
サイバーセキュリティセミナー

プログラム内容/講師

企業に求められるサイバーセキュリティへの取り組み
上原 哲太郎 (立命館大学情報理工学部教授 京都大学博士 (工学))

中学生を対象とした情報セキュリティ教材の開発と出前授業を通じた実践
土居 茂雄 (苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 教授)

誰1人取りこぼさない時代の情報セキュリティ対策 ~若年層と高齢者にどう対応するか~
花田 経子 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所 所員)

SC4Y 2024年度開催の様子

LDDSec 2023年度開催の様子

無線LANルーターを作って
パケットをみてみよう

~スマートホンのアプリが送受信してる
パケットはどこからきてどこへいくのか~

d docomo business
2023年9月
NTTコミュニケーションズ株式会社
イノベーションセンター 推進部長
シニア・テクノロジー・アーキテクト / エバンジェリスト
博士(工学) 宮川 晋
shin.miyakawa@ntt.com

cybozu

サイボウズのセキュリティの取り組み

サイボウズ株式会社 セキュリティ室 松本 純 / Cy-SIRT
日本シーサート協議会(NCA) 地区活動委員
セキュリティ・キャンプ協議会 理事(副会長)

aws

クラウドセキュリティをはじめよう

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
セキュリティアシユアランス本部
松本照吾
2023年8月26日

ChatAIとの上手な向き合い方

株式会社インフィニットループ
千葉龍弥

僕と LOCAL のだいたい10年史

LOCAL 運営委員 / 安全部 / 広報委員会
藤田優貴 (a.k.a. あるねこ)
2023/08/26 LOCAL Developer Day Online '23 /Security

民間災害支援者向け情報支援の
理想と現実

東北医科薬科大学 /
情報支援レスキュー隊 (IT DART)
佐藤 大

東北医科薬科大学
IT DART

【プログラム内容/講師】

無線LANルーターを作ってパケットをみてみよう
宮川 晋 (NTTコミュニケーションズ株式会社 イノベーションセンター・担当部長 / シニア・テクノロジー・アーキテクト)

クラウドセキュリティをはじめよう
松本 照吾 (アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 セキュリティアシユアランス本部 本部長)

ChatAIとの上手な向き合い方
千葉 龍弥 (株式会社インフィニットループ)

サイボウズのセキュリティの取り組み
松本 純 (サイボウズ株式会社 セキュリティ室/Cy-SIRT、日本シーサート協議会(NCA) 地区活動委員、セキュリティ・キャンプ協議会 副会長)

僕とLOCALのだいたい10年史
藤田 優貴 (一般社団法人LOCAL)

OSC北海道の実行委員長を約10年ぶりにやってみて
小野寺 大地 (一般社団法人LOCAL)

民間災害支援者向け情報支援の理想と現実
佐藤 大 (東北医科薬科大学 医学部/情報支援レスキュー隊 (IT DART))

ライトニングトーク大会 (1人5分)
参加者による自由発表

LDDSec 2024年度開催の様子

【プログラム内容/講師】

<キーノート>
今こそガシーを振り返ってみよう
-サイバー攻撃被害はなぜ減らないのか-
猪俣 敦夫
(大阪大学 教授, CISO, SecHack365 トレーナー)

<パネルディスカッション>
セキュリティイノベーターへの道
ファシリテータ: **木藤 圭亮**
(NICTナショナルサイバートレーニングセンター 招へい専門員)
パネリスト: **藤田 優貴、三谷 日姫、加納 源基**

<セッション>
tessyとともに海外のセキュリティ・コミュニティとの繋がりについて語るタベ
寺島 崇幸 aka tessy
(AVTOKYO, SECCON, CODEBLUE, dit) 、
(聞き手: **園田道夫**)

ライトニングトーク大会 (1人5分)
参加者による自由発表

事業成果・まとめ

- 延べ参加者数：229名
- **学生に加え、社会人5年以下の若手層が多く参加**
 - 社会人となり現場に配属され、より実践的なセキュリティ対策の習得を求めている層に効果的であった
- **全国版Hardening大会「Hardening 2023 Generatives（ルスツ）」、「Hardening 2024 Convolutions（沖縄）」への参加者を輩出**
 - 活動の場を北海道内に留めず、全国へ挑戦するきっかけを与えることができた
 - 全国大会への参加費用はLOCALが支援（助成金による支援効果）
- **サイバーセキュリティセミナーでは、オンラインで年齢問わず幅広い層に啓発を行った**

- 延べ参加者数：86名
- **情報セキュリティのプロの視点×コミュニティを掛け合わせ、知識と経験談の両面で参加者へ刺激を与えた**
 - 2024年度はより熱量をもって伝えるため、現地開催に切り替え
 - 情報セキュリティ人材育成事業を経た若者が、その後どのような進路を辿ったのか、コミュニティでの活動をとおして、その後の人生にどのような影響があったのか、経験談を共有する場を提供
 - 刺激を受けた参加者の中から、将来のキーパーソン、リーダーとなる人材が輩出されることを期待

- **北海道地域および全国の関連団体と協力関係を築くことができた**
 - HAISL、NICT
 - 北海道大学、公立千歳科学技術大学、苫小牧工業高等専門学校、北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道情報専門学校
 - 北海道ソフトウェア技術開発機構および多数の講師所属企業
- **今後、北海道地域において情報セキュリティ啓発・育成事業を進めるにあたって、産学官民で連携し、より多角的な活動を展開する土台をつくることができた**

LOCALが 令和5年度「情報通信月間」北海道総合通信局長表彰 を授賞

- 授賞理由：多年にわたり、北海道管内の青少年ICTリテラシー向上と地域セキュリティコミュニティの活性化に寄与するとともに、サイバーセキュリティ対策に係る人材育成や普及啓発に多大な貢献をした。

HAISLが 日本セキュリティ大賞2024 人材育成部門 優秀賞 を授賞

- 授賞理由：10年間にわたる勉強会や競技会を通じて、地域のサイバー人材育成およびセキュリティ意識の向上に貢献している点が評価された。一般向けのセミナー開催など、地域全体への啓発活動にも力を入れており、これまでの継続的な取り組みが非常に好印象。また、若手育成への貢献も高く評価され、今後もさらなる地域セキュリティ向上が期待される。

- **慢性的な人出不足**
 - 長年の活動継続による信頼獲得の一方で、継続してアクティブに動ける人材は少数固定化
 - 若者のコミュニティ離れ、オンライン慣れ
 - 解決案：地域貢献や人材育成に積極的な企業・団体との連携を模索
- **活動を継続するための資金不足**
 - 遠距離、長時間移動となる北海道での対面イベントでは、常につきまとう課題（燃料費、宿泊費の高騰も地味に痛い）
 - 解決案：SC4Yサポーターズ（寄付金）制度を計画中

ぜひ、Grafsec全国会員の皆様からもご意見をいただき、参考にしたい

- **事務局の手厚いサポート**
 - 専門的な知識が無くても、助成金の申請にあたって必要な手続きは事務局が懇切丁寧に教えてくれた
 - 事業の遂行状況に応じ、当初予定からの修正や相談にも柔軟に対応していただいた
 - 報告はそれなりに大変だが、振り返りを行う良い機会にもなった
- **「継続」による確かな支援効果**
 - 事業が軌道に乗るまでの間、数年にわたって支援いただいた結果、Grafsecのスローガンでもある「自立・自走可能」な状態にすることができた

**Grafsecの多大なるご支援に、
あらためて感謝申し上げます！**